富士砂防だより

発行
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話(0544)27-5221

平成十一年度 土砂災害防止月間の実施について

昭和47年7月　富士宮市上井出の「白糸寮」を襲った災害

土石流やがけ崩れは、大雨などにより突然起こります。

土砂災害は家屋を押しつぶし、数多くの尊い人命を奪います。

今年も6月1日から6月30日までの期間を「土砂災害防止月間」として、防災に関する情報提供などを通じて、被害の防止、軽減を図ります。

「からまつ荘」の惨劇を二度と繰り返さないために

平成10年8月27日、福島県西郷村にある救護施設「太陽の国からまつ荘」で死者5名を出す土砂災害が発生しました。これを契機に社会福祉施設、医療施設、幼稚園などの災害弱者関連施設の立地条件などを緊急点検したところ、全国にある災害弱者関連施設のうち、9000施設が土砂災害危険個所内に位置しており、約8000施設が土砂災害に注意が必要な箇所である事が判明しました。

二度とあのような惨劇を繰り返さないために、建設省・都道府県では防災工事や警戒避難体制の整備などのソフト対策を推進していきます。

土砂災害防止月間

6月1日(火)～6月30日(水)

「みんなで防ごう土砂災害」

30周年記念事業

今日、明日

趣　旨

「富士山の昨日、今日、明日」―富士山を見つめ、学び、富士山を愛する人々と語る― をテーマに、昭和44年度に着手された富士山直轄砂防事業を、昭和45年度の富士砂防工事事務所開設と合わせ記念し、これまで直轄事業として実施してきたことを整理・総括します。そしてそれらの内容を一般の方々にもわかりやすい形で伝え評価をいただき、今後の事業展開について意見していただき、将来につなげることを目的に実施するものです。

実施体制

「富士山直轄砂防30周年記念事業実行委員会」（委員長：富士宮市長）
富士砂防工事事務所

テーマ

「富士山の昨日、今日、明日」―富士山を見つめ、学び、富士山を愛する人々と語る―

実施する期間

平成11年度（直轄事業着手30年）、平成12年度（事務所開設30年）

平成11年度に実施する主な事業の内容(案)

（1）記念誌の編纂
（2）「崩れ（幸田文学に見る富士の山）」映像の製作
（3）記念行事……実行委員会の主催
①記念式典・シンポジウム
・平成11年11月17日（水）
「崩れ」の公開。富士山の現状と砂防事業の効果を中心とした討論。
②大沢崩れと御中道見学会
（7月～10月の各月1回）
③大沢扇状地を利用したイベントの企画・実施。
（平成11年8月23日）
④工事竣工式（平成11年10月頃予定）
⑤富士山御中道360度（平成11年9月頃予定）
⑥懇談会（平成12年1月頃予定）
（4）地域との連携事業……実行委員会が協賛又は後援
①富士砂防等が主催する行事に協賛又は後援
②地域が主催する行事に協賛又は後援
（5）富士山と砂防の情報提供
「SABOコミュニティーホール あまつばめ」の開設：平成11年6月16日

富士山砂防の歴史

1957	昭和32年	静岡県が「富士山大沢崩れ対策委員会」を設置し調査に着手
1958	昭和33～35年度	富士山大沢崩れ対策委託調査
1964	昭和39年	静岡県が補助事業として工事に着手（～昭和43年）
1967	昭和42年5月	政府与党連絡会議、参議院予算委員会で富士山大沢崩れ問題議論
	6月	「富士山大沢崩れ対策懇談会」設置（閣議了解）国として対策検討開始
1968	昭和43年度	直轄砂防調査開始（沼津工事事務所）、第一期事業計画策定
1969	昭和44年4月	富士宮砂防出張所（沼津工事事務所）発足 直轄砂防事業　大沢第7床固工事着手
1970	昭和45年4月	富士砂防工事事務所　発足
1972	昭和47年度	土石流災害の多発を機に「富士山大沢崩れ対策協議会」設置 潤井川流路工工事着手
1974	昭和49年度	大沢川流路工工事着手
1976	昭和51年7月	幸田　文さん大沢崩れ来訪
1978	昭和53年度	大沢扇状地除石工工事着手
1980	昭和55年度	芝川筋導流堤工事着手 「富士山南西山麓防災対策連絡調整会議」発足
1981	昭和56年	岩樋底面水抜きスクリーン現地試験施工
1982	昭和57年度	源頭部調査工事着手
1983	昭和58年度	所掌が「富士山大沢崩れに関する砂防工事」から「富士山の砂防工事」に改正され、南西野渓対策（猪の窪川、弓沢川の砂防事業）に着手
1987	昭和62年度	足取川の砂防事業に着手 「大沢川源頭部（峡谷域）施設配置検討委員会」設置
1988	昭和63年度	風祭川の砂防事業に着手
1990	平成2年11月	富士山直轄砂防20周年記念式典
1992	平成4年度	富士市（凡夫川、赤淵川、須津川）の砂防事業に着手
	平成4年12月	富士山全域で雪代発生、滑沢では栗ノ木ダム群で流下くい止める
1994	平成6年11月	栗ノ木砂防ダム工群　完成式
	平成6年度	風祭沈砂地工　完成
1995	平成7年度	自然環境に配慮した資材運搬施設（現：富士HEARTシステム）の実用化試験着手
	平成7年10月	潤井川流路工　完成式
1996	平成8年度	足取沈砂地工　完成
1997	平成9年1月	富士HEARTシステム出発式
	平成9年	6月と11月に大規模土石流発生、災害を未然防止
1998	平成10年度	除石事業と海岸侵食対策事業との連携
	平成10年度	弓沢沈砂地工　完成

富士山砂防

富士山の「昨日、

広報誌読者の声お便り募集

（1）富士砂防工事事務所が実施している事業や行事についてご意見などをお聞かせ下さい。

（2）その他、お気づきの点、ご質問などありましたらお聞かせ下さい。

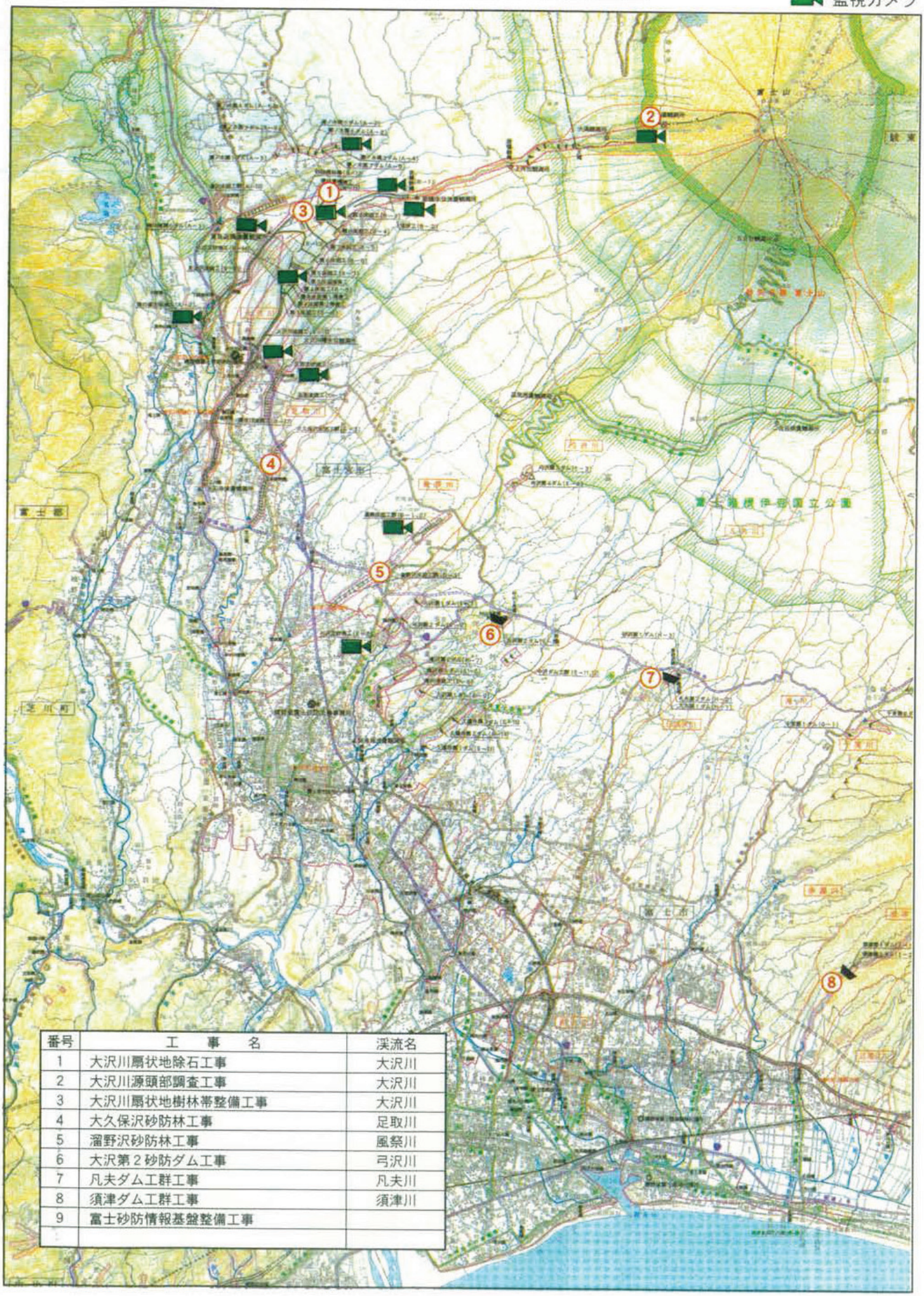
※お差しつかえがなければご記入下さい。

住　所	〒				
氏　名		年齢		性別	
職　業（学校名）					

ご協力ありがとうございました。

平成11年度主要事業位置図

監視カメラ



番号	工　事　名	渓流名
1	大沢川扇状地除石工事	大沢川
2	大沢川源頭部調査工事	大沢川
3	大沢川扇状地樹林帯整備工事	大沢川
4	大久保沢砂防林工事	足取川
5	溜野沢砂防林工事	風祭川
6	大沢第２砂防ダム工事	弓沢川
7	凡夫ダム工群工事	凡夫川
8	須津ダム工群工事	須津川
9	富士砂防情報基盤整備工事	

平成11年度
富士砂防工事事務所事業予算の概要

1．概　　要

現下の極めて厳しい景気の状況を踏まえ、我が国経済の再生に全力を尽くすため、富士砂防工事事務所では、地域経済の実状や地方公共団体の要望等に即しつつ、大沢川の土石流対策を中心に投資効果の高い事業に重点を置いて、財源の重点的かつ効率的な執行に努めることとします。

2．事 業 費

（単位：百万円）

事　業　名	箇　所　名	平成11年度事業費	平成10年度事業費	対前年比	備　　考
砂　防	富　士　山	2,745	2,687	1.02	

※事業費は調査費を含みます。
※平成10年度事業費は当初事業費

3．主要事業

事　業　名	内　　容
土砂災害対策	1．大沢崩れ対策 ・大沢扇状地の堆積土砂を次期土石流に対処するため、除石工事を行います。 ・また上流大沢源頭域では、大沢崩れ調査工事について、滝保護工に着手します。 2．南西野渓対策 ・弓沢川支川大沢第２砂防ダムを完成させます。 ・景観に配慮した須津川須津第２砂防ダムを完成させます。
総合土砂管理対策	砂防事業と海岸事業が連携することにより、大沢扇状地の堆積土砂を富士海岸侵食対策のための養浜材料として有効活用を図ります。
情報基盤、安全管理システム	土砂災害から人命を守るため、降雨等の情報収集、処理機器、土石流監視カメラを設置する等の警戒避難体制の整備を富士山南西山麓などにおいて推進します。
技術開発	富士HEARTシステムの実用化試験を弓沢川における軌条で継続実施します。
その他	これまで実施した事業を総括し、今後のあるべき姿の展開を図るため、「富士砂防直轄事業30周年記念事業」を実施します。

大沢扇状地除石工（掘削・破砕・ふるい分け・運搬）

須津ダム工群（須津第１砂防ダム）

情報システムの整備推進

土石流の発生を早期に感知して災害防止に役立てるため、情報通信システムの基盤整備を進めています。

平成10年度までに光ファイバー整備延長は40km、ＣＣＴＶ監視カメラは12基を設置し、リアルタイムで情報を集中管理します。また、土石流発生解析の調査データとしても活用を図って行きます。

事務所災害対策室

岩樋監視カメラ

富士HEARTシステム 平成10年度試験の概要

（1）耐久性・安全性

勾配26度の急斜面で、自動運行による200時間連続運転を実施しました。（写真）

（2）環境への影響

植生に与える影響を継続調査しました。また、天ぷら油の廃油を代替燃料にした排気ガス調査を実施しました。

（3）施工性

撤去試験を開始。軌条の基礎となるＨ型鋼を多滑車方式により引き抜きました。

大きく育てフジアザミ

大沢崩れ対策の調査研究の一つにフジアザミ、ミヤマハンノキ等による植生試験があります。

２月23日に富士砂防工事事務所で静岡大学増沢教授と研究室の学生６名と共同でフジアザミの種取り作業（この日１日で約９万個の種を採取）を実施、苗作りなどに使用します。

作業風景

フジアザミの種／わた毛がきれいでかるい

富士砂防事務所内１階に SABOコミュニティーホール あまつばめ が６月16日にオープンします

このホールは来訪者の方々が富士山と砂防について、より理解を深めていただくための場所です。CCTVの画像やビデオ・写真・パネル等を気軽に見ていただけますので、皆さん、お気軽にお立ち寄り下さい。

ボクはアマツバメ！　たまに大沢崩れを飛んでチリリー、ギリリーと鳴いて見学に来ている人に鳴く声を聞かせるよー。

アマツバメ科　全長：20cm
全長の２倍以上もある翼を三日月形に広げて速く飛ぶ。海岸、高山の崖地に巣を作る。大沢川渓谷部で集団繁殖していることが確認されています。

郵便はがき

料金受取人払

富士宮局
承　認
131

差出有効期限
平成11年9月
30日まで

切手をはらずに
お出し下さい

418-8790

静岡県富士宮市
三園平1100

建設省 中部地方建設局
富士砂防工事事務所
広報担当 行

「あまつばめ」ご利用案内

利用時間：午前８時30分～午後５時（平日）
●インターネットの利用が出来ます。
●CCTV監視カメラの画像が見られます。
●事務所にあるビデオが見られます。
主なビデオ：

- 富士山大沢崩れ　（約５分）
- 富士山―その知られざる現状―　（約50分）
- 富士とともに生きる ―大沢崩れと南西野渓―　（約15分）
- 富士HEARTシステム　（約15分）
- 富士山の四季　（約５分）

など

ビデオ観覧ご希望の方は、総務課受付まで
TEL.0554-27-5221

広報誌読者の声

※いただいたお便りの一部を紹介します。

◆下流部のみ災害の対策を考えて、中間部から頂上部にかけては自然のままで良い！
◆大沢崩れ砂防を人力で斗い防ぐ企みはナンセンス。大沢平坦部以下の防災に対応すべき。
◇砂防工事は富士山の景観を守る為のものだけかと思っていましたが、地域の生活を守る工事でもあるんだと改めて認識しました。
◇私は「うるい川」沿いに自宅が有り、昭和47年の集中豪雨で、土石流の恐ろしさを体験しました。安心して暮らせる様お願いします。

お知らせコーナー

富士山直轄砂防30周年記念事業 大沢崩れと御中道見学会

富士山の大沢崩れは、今から約千年前から始まったといわれています。この大沢崩れの荒廃状況を、皆様ご自身の目で確かめていただき、自然の脅威と砂防事業について理解を深めていただくための見学会を今年も下記実施要領のとおり計画しましたので、見学を希望される方は、申込をお願いします。

対　象：原則として県内に在住されている方。
定　員：35名（1回当り）
実施日：第1回／7月22日(木)　（申込締切日）7月8日(木)
　　第2回／8月18日(水)　（　〃　）8月4日(水)
　　第3回／9月17日(金)　（　〃　）9月3日(金)
　　第4回／10月14日(木)　（　〃　）9月30日(木)
参加費：1,000円（交通費及び保険料）
コース：集合／富士宮市浅間神社湧玉の池東バス停（8:20）
湧玉の池東バス停 (8:30) ―バス― 富士スバルライン御庭 (10:30) ―徒歩― 御中道・大沢 (12:30) ― 昼食 ―徒歩― 御庭 (15:00) ―バス― 湧玉の池東バス停 (17:00)
申込方法：往復ハガキに住所・電話番号・希望日(複数可)・氏名・年齢(ご家族・グループの場合は全員と代表者)を記入して、締切日までに下記の所へ申し込んで下さい。
〒418-0004 富士宮市三園平1100番地
建設省　富士砂防工事事務所　TEL.0544-27-5221
※見学希望者が多い場合は、抽選とします。
見学いただく方へは、その旨別途連絡いたします。
※受け入れ人数に制限があり、見学いただけない場合もありますのでご了承下さい。
その他：
1. コースには徒歩での山歩きが4時間程度入ります。小学生の参加は高学年で父兄同伴とします。
2. 見学コースには危険な所もありますので、見学者には、別途配布する見学案内を遵守していただきます。

第4回 富士山への手紙・絵コンクール

富士山から学んだこと……、富士山と地域を守ること……、美しい富士山をいつまでも残していくために……、富士山と共に生きる私たちのそれぞれの富士山への思いを手紙に、絵に描いて送って下さい。

応募要項

■手紙部門
応募資格：小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
作品規格：一人1点（未発表のもの）ハガキ400字以内
■絵部門
応募資格：どなたでも応募できます。
作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご配慮下さい。用紙は四つ切を使用して下さい。
審査賞：特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。
審査委員長　村松友視（作家）
応募期間：平成11年7月1日(木)～9月16日(木)（当日消印有効）
応募先：〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地
富士宮市教育委員会　学校教育課
富士山への手紙・絵コンクール事務局
応募方法：詳しくは6月中旬に主催者が配布する「募集要項」をご覧下さい。
主　催：富士宮市・富士宮市教育委員会
(社)富士宮青年会議所・建設省富士砂防工事事務所

第3回コンクール絵部門入賞作品がカレンダーになりました。平成11年4月からの年度版で管内の小中学校に配付し、希望者にお分けしました。（まだ少し残りがあります）

富士山直轄砂防30周年記念事業 大沢扇状地ウォーク

富士山大沢崩れから流出した大量の土砂が堆積している大沢扇状地の広大な河原の中や樹林帯の中を、砂防や富士山の自然に関するクイズを解きながら歩き、砂防事業についての理解を深めて下さい。
対　象：小学生～一般(小学生は父兄同伴)
行　程：富士宮駅 (9:00) ― 大沢扇状地スーパー堤防 (10:00) ― 扇状地第9床固 河原の中をウォーク (12:00) ― 昼食・学習会 ― スーパー堤防 樹林帯の中をウォーク (15:00) ― 富士宮駅 (16:00)
実施日：平成11年8月23日(月)　（申込締切日）8月9日（月）
定　員：約150名
参加費：500円（交通費及び保険料）
申込方法：
往復ハガキに住所・電話番号・氏名・年齢(ご家族・グループの場合は全員と代表者)を記入して富士砂防工事事務所へお送り下さい。参加者カード(返信ハガキ)を返送します。

情報提供のお願い

●富士砂防が関係する、古い写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。
（連絡先）富士砂防工事事務所
（建設監督官・永井、又は調査課長・田中まで）
TEL.0544-27-5221（内線542、又は351）

（お問い合せ先）
■建設省富士砂防工事事務所
〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100　TEL.0544-27-5221
■富士宮砂防出張所
〒418-0103 静岡県富士宮市上井出826-1　TEL.0544-54-0236
インターネット＝http://www.cb.moc.go.jp/fujisabo/